

令和 6 年 6 月 24 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2021～2023

課題番号：21K09740

研究課題名（和文）全レセプトデータ（NDB）を用いた眼科難病・希少疾患・難治性疾患の疫学研究

研究課題名（英文）Epidemiological Research on intractable, rare, and incurable ophthalmological diseases using NDB claims data.

研究代表者

田村 寛（TAMURA, HIROSHI）

京都大学・国際高等教育院・教授

研究者番号：40418760

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では日本全国の眼科難病・希少疾患の疫学および診療実態を正確に把握することができた。具体的には、加齢黄斑変性（Ophthalmol Sci. 2021）、中心性漿液性網脈絡膜症（BJO. 2021）、緑内障（Graefe Ophthalmol. 2021）、斜視（AJO 2024）、網膜色素変性（網膜硝子体学会）等の「眼球に限局する難治性疾患」のみならず、フォン・ヒッペル・リンドウ病、弾性線維性仮性黄色腫（Ophthalmol Sci 2023）（J Dermatol 2022）、眼腫瘍等の「全身性に発症し複数診療科受診がある難病・希少疾患」についても成果を報告することができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では日本全国の眼科難病・希少疾患の疫学および診療実態を正確に把握することができた。高齢化の進展の影響を最も強く受けている国の一つであるという特徴も反映した将来予測も含めたエビデンス創出にもつながった。本研究のようなデータ駆動型研究は、既に蓄積されたデータの有効活用の一つで期待が大きい一方で、手法の確立までは成果が出にくいという特徴があげられる。本研究により眼科難病・希少疾患の疫学および診療実態を明らかにすることにより、将来的な治療法の開発や発症予防につながるだけでなく、実績が乏しい難病・希少疾患領域また眼科領域でのデータ駆動型研究の先鞭ともなった。

研究成果の概要（英文）：This study was able to accurately ascertain the epidemiology and actual status of treatment of intractable and rare diseases of ophthalmology throughout Japan. Specifically, not only "intractable diseases confined to the eye" such as age-related macular degeneration (Ophthalmol Sci. 2021), central serous retinal choroidopathy (BJO. 2021), glaucoma (Graefe Ophthalmol. 2021), strabismus (AJO 2024), retinitis pigmentosa (Vitreoretinal Society), We were also able to report the results of "intractable and rare diseases with systemic onset and multiple department visits" such as von Hippel-Lindow disease, pseudoxanthoma elasticum (Ophthalmol Sci 2023) (J Dermatol 2022), and ocular tumors.

研究分野：眼科

キーワード：NDB オンサイト 難病 希少疾患 疫学

1. 研究開始当初の背景

難病・希少疾患や難治性疾患は、症例が集積する大学病院等のデータを統合しても、その希少さ故に対象となる患者数が少なく、病態や治療法解明につながる疫学的知見が乏しいという大きな問題点がある。これまでは疾患レジストリ等も調査に用いられてきたが、網羅性には課題が残る。そうした中、網羅性に優れた手法として診療報酬請求(レセプト)データを活用した調査への期待が高まってきている。

レセプトを用いた研究が普及してきた経緯として、「実際の医療の現場を反映した情報」を RWD と位置づけ研究材料とできる特徴が大きい (Virnig et al, Annu Rev Public Health, 2001)。このことは、「RCT に含まれない実臨床の患者を対象とできる」、「施設や診療科の垣根を越えて、全ての診療行為情報が含まれる」、「日常診療の中で生じる情報を利用するため、研究対象者に侵襲や負担がない」、「長期の観察期間および莫大な対象者数を確保できる」等のレセプト研究の強みにつながり、日本でも特に世界最大かつ高い網羅性の NDB 利活用への期待が高まっている (Matsuda et al, AP J of Disease Manage, 2014)。

しかし、我が国のレセプトを活用した研究は歴史が浅く、特に難病・希少疾患領域や眼科領域でのエビデンス創出は不十分である。眼科領域では、小規模な民間レセプトデータに基づいた成果の報告は散見されるが、人口カバー率が数%にとどまり、緑内障や加齢黄斑変性等の一定規模の症例数が確保可能な疾患での報告に限られている。今回我々が解明を目指す難病・希少疾患に関しては、症例数の制限から小規模な民間データベースでは十分に検討ができないと考えられ、日本の保険診療を網羅する世界最大の NDB の活用が望まれている。

2. 研究の目的

・眼科難病・希少疾患および難治性疾患の実態を把握し、その病態解明および治療方法開発へとつながる疫学的知見を得ること

・全国民をカバーする NDB を用いて、難病・希少疾患・難治性疾患や眼科の疫学的研究を行う際に残される課題を抽出することを目的とした。

こうした目的を有する本研究には、3つの学術的独自性・創造性がある。

申請者らは、東大・京大・奈良医大の研究者らで構成された「NDB 全般の利用を容易にするための包括的なシステム開発」(基盤研究 A)で中心的な役割を果たしてきた。しかし当該研究は包括的な研究であり、難病・希少疾患ないし眼科に特化した個別具体的な議論は出来ていない。そのため、本研究では基盤研究 A で培った統合用「ID0 (詳細後述)」作成や年齢調整発症率推測等の知見を個別具体的な事例に落とし込む。難病・希少疾患ないし眼科において我々のように高度なスキルを持つチームは他になく、極めて独自性の高い研究と言える。

NDB オンサイトセンター(厚生労働大臣による使用許可取得済み)経由で日本全国民を対象とする全数調査を実施するが、類似した研究は過去に例がない。さらに独自に培ってきたレセプト活用研究、業務データや政府データを複合的に活用したデータ駆動型研究、難病・希少疾患に関する疫学研究、等多方面に及ぶ経験を有機的に結び付けた統合的な解釈は、本研究チームでしか実施できない。

本研究では、疫学者主体ではなく複数の疫学修士レベルの眼科専門医が協力し、眼科難治性疾患における臨床ニーズを踏まえたデータ分析を可能とする点で、他者取り組みとは一線を画す独自の調査研究である。また、NDB の課題であった転職や結婚前後での個人の突合をする固有「ID0」作成手順の改善等の直近の対策手法を実装しつつ、最新の疫学・データ科学の手法を用いて高精度の報告をするべく専門家との調整も進めている。

本研究の結果、難病・希少疾患・難治性疾患に関して新規知見が得られれば、将来の患者数予測、オーファンドラッグ・デバイスの指定制度等の政府支援も経た新規治療の開発につながり得ること、さらには本領域での NDB 利活用の基盤形成が期待される。

3. 研究の方法

世界最大の健康関連データである NDB を用いて、網膜中心動脈閉塞、中心性漿液性網脈絡膜症、緑内障等の「A. 眼球に限局する難治性疾患」から調査を開始し、研究後半

ではフォン・ヒッペル・リンドウ病(小児慢性特定疾病 25)、弾性線維性仮性黄色腫(指定難病 166)等のこれまで困難だった「B. 全身性に発症し複数診療科受診がある難病・希少疾患」に対象を拡大し、以下 ~ の疫学・診療実態に関する調査を行う。これらにより、NDB の難病・希少疾患・難治性疾患に対する有効性を示すとともに残る課題の抽出も目指す。

有病率や発症率の調査(性別、年齢別、地域別など)

患者背景(年齢、性別、併存疾患、使用薬剤など)の把握

実臨床で施行されている治療内容および治療成績を把握し、その変遷の調査

治療で発生した副作用の調査、治療との関連の検討

前述の A でのノウハウをその後の B に活かす形で、それぞれの ~ についてのエビデンス創出を目指す。具体的には、2019 年 10 月から 6 か月間の許可を得た NDB オンサイトセンター学内限定試行期間中に、患者固有「ID0」の作成とそれに基づいた各疾患の解析に必要なデータを異なるデータテーブルから集約した中間成果物を得る経験をした。本研究ではその際に躓きの原因となったデータ分析用プログラムを改善し、迅速に事後の検討に必須な中間成果物を得るところから始め、疫学的統計処理を加えて、超高齢社会である日本における眼科難病・希少疾患および難治性疾患疫学的知見の特徴をまとめる(上記 ~)。そのうえで、超高齢社会が進行とともに予見される患者増加に備えるべく、

人口推計データ・気象データとも併せて解析して精度高い将来予測を行う。

また、本領域における

NDB 利活用での残る課題整理と利活用推進への基盤形成を目指す。

4. 研究成果

本研究では、日本全国の眼科難病・希少疾患の疫学および診療実態を正確に把握することができた。具体的には、加齢黄斑変性(Kido A et al. Ophthalmol Sci. 2021)、中心性漿液性網脈絡膜症(Kido A et al. BJO. 2021)、緑内障(Kido A et al. Graefes Ophthalmol. 2021)、斜視(Miyata M et al. AJO 2024)、網膜色素変性(木戸ら 網膜硝子体学会)等の「眼球に局限する難治性疾患」から研究を進めつつ、フォン・ヒッペル・リンドウ病(小児慢性特定疾病 25)(高橋ら 京都眼科学会 2022)、弾性線維性仮性黄色腫(指定難病 166)等(Wada S et al. Ophthalmol Sci 2023)(Iwanaga A, et al. J Dermatol 2022)、眼腫瘍(木戸ら 日本眼腫瘍学会)等のこれまで困難だった「全身性に発症し複数診療科受診がある難病・希少疾患」についても成果を報告することができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計42件（うち査読付論文 41件／うち国際共著 1件／うちオープンアクセス 16件）

| | |
|--|---------------------------|
| 1. 著者名 Sakata Ryo, Miyata Manabu, Ooto Sotaro, Tamura Hiroshi, Ueda-Arakawa Naoko, Muraoka Yuki, Miyake Masahiro, Hata Masayuki, Takahashi Ayako, Kido Ai, Numa Shogo, Mori Yuki, Tsuda Kanae, Uji Akihito, Oishi Akio, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 43 |
| 2. 論文標題 TEN-YEAR VISUAL OUTCOME AND CHANGE IN CHORIORETINAL ATROPHY AFTER INTRAVITREAL RANIBIZUMAB FOR MACULAR NEOVASCULARIZATION IN PATHOLOGIC MYOPIA | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Retina | 6. 最初と最後の頁 1863 ~ 1871 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/iae.0000000000003869 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Nishigori Naomi, Muraoka Yuki, Ishikura Masaharu, Kogo Takahiro, Ueda-Arakawa Naoko, Miyata Manabu, Tamura Hiroshi, Hata Masayuki, Takahashi Ayako, Miyake Masahiro, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 13 |
| 2. 論文標題 Extensive reduction in choroidal thickness after photodynamic therapy in eyes with central serous chorioretinopathy | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Scientific Reports | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-023-37802-w | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------------|
| 1. 著者名 Miki Makoto, Miyata Manabu, Ooto Sotaro, Tamura Hiroshi, Ueda-Arakawa Naoko, Muraoka Yuki, Miyake Masahiro, Hata Masayuki, Takahashi Ayako, Kido Ai, Kogo Takahiro, Uji Akihito, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 43 |
| 2. 論文標題 PREDICTORS OF 3-MONTH AND 1-YEAR VISUAL OUTCOMES AFTER VITRECTOMY WITH SUBRETINAL TISSUE PLASMINOGEN ACTIVATOR INJECTION FOR SUBMACULAR HEMORRHAGE | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Retina | 6. 最初と最後の頁 1971 ~ 1979 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/iae.0000000000003885 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------------|
| 1. 著者名 Wada Saori, Miyake Masahiro, Kido Ai, Kamei Takuro, Hiragi Shusuke, Ikeda Hanako Ohashi, Hata Masayuki, Ueshima Hiroaki, Tsujikawa Akitaka, Tamura Hiroshi | 4. 巻 4 |
| 2. 論文標題 Epidemiology of Angioid Streaks and Pseudoxanthoma Elasticum (2011-2020) | 5. 発行年 2024年 |
| 3. 雑誌名 Ophthalmology Science | 6. 最初と最後の頁 100370 ~ 100370 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.xops.2023.100370 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------------|
| 1. 著者名 Kogo Takahiro, Muraoka Yuki, Ishikura Masaharu, Nishigori Naomi, Ueda-Arakawa Naoko, Miyata Manabu, Tamura Hiroshi, Hata Masayuki, Takahashi Ayako, Miyake Masahiro, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 9 |
| 2. 論文標題 Widefield choroidal vasculature associated with future condition of subretinal fluid in central serous chorioretinopathy | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Heliyon | 6. 最初と最後の頁 e18441 ~ e18441 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heliyon.2023.e18441 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 Kawashima Yu, Hata Masayuki, Miyake Masahiro, Kusaka Mami, Oishi Akio, Ooto Sotaro, Tamura Hiroshi, Miyata Manabu, Uji Akihito, Ueda-Arakawa Naoko, Takahashi Ayako, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 44 |
| 2. 論文標題 MACULAR CHORIORETINAL ATROPHY AND VISUAL OUTCOMES IN RANIBIZUMAB- OR AFLIBERCEPT-TREATED MYOPIC CHOROIDAL NEOVASCULARIZATION | 5. 発行年 2024年 |
| 3. 雑誌名 Retina | 6. 最初と最後の頁 127 ~ 135 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/iae.00000000000003930 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Wada Saori, Miyake Masahiro, Hata Masayuki, Kido Ai, Kamei Takuro, Akada Masahiro, Hiragi Shusuke, Tamura Hiroshi, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 Annual Trends of Ophthalmic Surgeries in Japan's Super-aged Society, 2014-2020: A National Claims Database Study | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Scientific Reports | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21203/rs.3.rs-3480692/v1 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Tamiya Ryosuke, Hata Masayuki, Tanaka Asako, Tsuchikawa Memiri, Ueda-Arakawa Naoko, Tamura Hiroshi, Miyata Manabu, Takahashi Ayako, Kido Ai, Muraoka Yuki, Miyake Masahiro, Ooto Sotaro, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 13 |
| 2. 論文標題 Therapeutic effects of faricimab on aflibercept-refractory age-related macular degeneration | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Scientific Reports | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-023-48190-6 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 Tanaka Asako, Hata Masayuki, Tsuchikawa Memiri, Ueda-Arakawa Naoko, Tamura Hiroshi, Miyata Manabu, Takahashi Ayako, Kido Ai, Muraoka Yuki, Miyake Masahiro, Ooto Sotaro, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 Volume 18 |
| 2. 論文標題 Short-Term Outcomes of 3 Monthly intravitreal Faricimab On Different Subtypes of Neovascular Age-Related Macular Degeneration | 5. 発行年 2024年 |
| 3. 雑誌名 Clinical Ophthalmology | 6. 最初と最後の頁 507 ~ 516 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/OPHTH.S448507 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Miyata Manabu, Kido Ai, Miyake Masahiro, Tamura Hiroshi, Kamei Takuro, Wada Saori, Ueshima Hiroaki, Kawai Kentaro, Nakao Shinya, Yamamoto Akinari, Suda Kenji, Nakano Eri, Tagawa Miho, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 262 |
| 2. 論文標題 Prevalence and Incidence of Strabismus by Age Group in Japan: A Nationwide Population-Based Cohort Study | 5. 発行年 2024年 |
| 3. 雑誌名 American Journal of Ophthalmology | 6. 最初と最後の頁 222 ~ 228 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajo.2023.11.022 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Hama Yuki, Miyata Manabu, Ooto Sotaro, Tamura Hiroshi, Ueda-Arakawa Naoko, Muraoka Yuki, Miyake Masahiro, Takahashi Ayako, Wakazono Tomotaka, Uji Akihito, Yamashiro Kenji, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 Seven-year outcome after 1-year fixed regimen of intravitreal aflibercept injections followed by pro re nata treatment for neovascular age-related macular degeneration | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00417-023-05982-w | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Miyake Masahiro, Nakao Shin-ya, Morino Kazuya, Yasukura Shota, Mori Yuki, Ishihara Kenji, Muraoka Yuki, Miyata Manabu, Tamura Hiroshi, Sakamoto Taiji, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 Effect of Duration of Macular Detachment on Visual Prognosis after Surgery for Macula-Off Retinal Detachment: Japan-Retinal Detachment Registry | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Ophthalmology Retina | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.oret.2023.01.014 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Tagawa Miho, Ooto Sotaro, Yamashiro Kenji, Tamura Hiroshi, Oishi Akio, Uji Akihito, Miyata Manabu, Miyake Masahiro, Takahashi Ayako, Ichioka Ai, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 17 |
| 2. 論文標題 Choriocapillaris flow deficit in a pachychoroid spectrum disease using en face optical coherence tomography angiography averaging | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 PLOS ONE | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0271747 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 該当する |

| | |
|---|-------------------------------|
| 1. 著者名 Yagi Mariko, Miyake Masahiro, Mori Yuki, Hosoda Yoshikatsu, Takahashi Ayako, Muraoka Yuki, Ueda-Arakawa Naoko, Miyata Manabu, Yamashiro Kenji, Tamura Hiroshi, Ooto Sotaro, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 2 |
| 2. 論文標題 Natural Course of Pachychoroid Pigment Epitheliopathy | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Ophthalmology Science | 6. 最初と最後の頁 100201 ~ 100201 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.xops.2022.100201 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------------|
| 1. 著者名 Kido Ai, Miyake Masahiro, Tamura Hiroshi, Hiragi Shusuke, Kimura Takeshi, Yoshida Satomi, Takeuchi Masato, Ohtera Shosuke, Takahashi Ayako, Ooto Sotaro, Kawakami Koji, Kuroda Tomohiro, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 2 |
| 2. 論文標題 Incidence and Clinical Practice of Exudative Age-related Macular Degeneration | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Ophthalmology Science | 6. 最初と最後の頁 100125 ~ 100125 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.xops.2022.100125 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------------|
| 1. 著者名 Aisu Nao, Miyake Masahiro, Hosoda Yoshikatsu, Mori Yuki, Takahashi Ayako, Muraoka Yuki, Ueda-Arakawa Naoko, Miyata Manabu, Oishi Akio, Tamura Hiroshi, Ooto Sotaro, Yamashiro Kenji, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 2 |
| 2. 論文標題 Effectiveness of Reduced-fluence Photodynamic Therapy for Chronic Central Serous Chorioretinopathy | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Ophthalmology Science | 6. 最初と最後の頁 100152 ~ 100152 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.xops.2022.100152 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------------|
| 1. 著者名 Mori Yuki, Miyake Masahiro, Hosoda Yoshikatsu, Miki Akiko, Takahashi Ayako, Muraoka Yuki, Miyata Manabu, Sato Takehiro, Tamura Hiroshi, Ooto Sotaro, Yamada Ryo, Yamashiro Kenji, Nakamura Makoto, Tajima Atsushi, Nagasaki Masao, Honda Shigeru, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 129 |
| 2. 論文標題 Genome-wide Survival Analysis for Macular Neovascularization Development in Central Serous Choroidopathy Revealed Shared Genetic Susceptibility with Polypoidal Choroidal Vasculopathy | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Ophthalmology | 6. 最初と最後の頁 1034 ~ 1042 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.opthta.2022.04.018 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------------|
| 1. 著者名 Watanabe Tomoyuki, Hiratsuka Yoshimune, Kita Yoshiyuki, Tamura Hiroshi, Kawasaki Ryo, Yokoyama Tetsuji, Kawashima Motoko, Nakano Tadashi, Yamada Masakazu | 4. 巻 12 |
| 2. 論文標題 Combining Optical Coherence Tomography and Fundus Photography to Improve Glaucoma Screening | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Diagnostics | 6. 最初と最後の頁 1100 ~ 1100 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/diagnostics12051100 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Kawai Kentaro, Miyata Manabu, Ooto Sotaro, Tamura Hiroshi, Ueda-Arakawa Naoko, Takahashi Ayako, Uji Akihito, Muraoka Yuki, Miyake Masahiro, Yamashiro Kenji, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 Macular atrophy at 5 years after photodynamic therapy for polypoidal choroidal vasculopathy | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Eye | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41433-022-02067-6 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 Ura Sawako, Miyata Manabu, Ooto Sotaro, Yasuhara Satoshi, Tamura Hiroshi, Ueda-Arakawa Naoko, Muraoka Yuki, Miyake Masahiro, Takahashi Ayako, Wakazono Tomotaka, Uji Akihito, Yamashiro Kenji, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 42 |
| 2. 論文標題 CONTRAST-TO-NOISE RATIO IS A USEFUL PREDICTOR OF EARLY DISPLACEMENT OF LARGE SUBMACULAR HEMORRHAGE BY INTRAVITREAL SF6 GAS INJECTION | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Retina | 6. 最初と最後の頁 661 ~ 668 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/IAE.0000000000003360 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 Otsuki Ryo, Sugiyama Osamu, Mori Yuki, Miyake Masahiro, Hiragi Shusuke, Yamamoto Goshiro, Santos Luciano, Nakanishi Yuta, Hosoda Yoshikatsu, Tamura Hiroshi, Matsumoto Shigemi, Tsujikawa Akitaka, Kuroda Tomohiro | 4. 巻 11 |
| 2. 論文標題 Integrating Preprocessing Operations into Deep Learning Model: Case Study of Posttreatment Visual Acuity Prediction | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Advanced Biomedical Engineering | 6. 最初と最後の頁 16 ~ 24 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14326/abe.11.16 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------------|
| 1. 著者名 Yoshida Miyo, Oishi Akio, Miyake Masahiro, Ooto Sotaro, Tamura Hiroshi, Miyata Manabu, Takahashi Ayako, Hata Masayuki, Yamashiro Kenji, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 38 |
| 2. 論文標題 Rescue photodynamic therapy for age-related macular degeneration refractory to anti-vascular endothelial growth factor monotherapy | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Photodiagnosis and Photodynamic Therapy | 6. 最初と最後の頁 102745 ~ 102745 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pdpdt.2022.102745 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------------|
| 1. 著者名 Yasuhara Satoshi, Miyata Manabu, Ooto Sotaro, Tamura Hiroshi, Ueda-Arakawa Naoko, Uji Akihito, Muraoka Yuki, Miyake Masahiro, Takahashi Ayako, Wakazono Tomotaka, Yamashiro Kenji, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 42 |
| 2. 論文標題 PREDICTORS OF RETINAL PIGMENT EPITHELIUM TEAR DEVELOPMENT AFTER TREATMENT FOR NEOVASCULAR AGE-RELATED MACULAR DEGENERATION USING SWEEP SOURCE OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY ANGIOGRAPHY | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Retina | 6. 最初と最後の頁 1020 ~ 1027 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/IAE.0000000000003426 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 Iwanaga Akira, Utani Atsushi, Koike Yuta, Okubo Yumi, Kuwatsuka Yutaka, Endo Yuichiro, Tanizaki Hideaki, Wataya Kaneda Mari, Hatamochi Atsushi, Minaga Kosuke, Ogi Tomoo, Yamamoto Yosuke, Ikeda Satoshi, Tsuiki Eiko, Tamura Hiroshi, Maemura Koji, Kitaoka Takashi, Murota Hiroyuki | 4. 巻 49 |
| 2. 論文標題 Clinical practice guidelines for pseudoxanthoma elasticum (2017) | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 The Journal of Dermatology | 6. 最初と最後の頁 91-98 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1346-8138.16301 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名 田村寛、三宅正裕、木戸愛、平木秀輔、加藤源太、辻川明孝 | 4. 巻 125 |
| 2. 論文標題 眼内レンズ縫着術実施症例の増加：レセプト情報・特定健診等情報（NDB）オープンデータを用いた全数調査 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 日眼会誌 | 6. 最初と最後の頁 738-740 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------------|
| 1. 著者名 Kido Ai, Miyake Masahiro, Tamura Hiroshi, Hiragi Shusuke, Kimura Takeshi, Yoshida Satomi, Takeuchi Masato, Ohtera Shosuke, Takahashi Ayako, Ooto Sotaro, Kawakami Koji, Kuroda Tomohiro, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 2 |
| 2. 論文標題 Incidence and Clinical Practice of Exudative Age-related Macular Degeneration | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Ophthalmology Science | 6. 最初と最後の頁 100125 ~ 100125 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.xops.2022.100125 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名 Tamura Hiroshi, Akune Yoko, Hiratsuka Yoshimune, Kawasaki Ryo, Kido Ai, Miyake Masahiro, Goto Rei, Yamada Masakazu | 4. 巻 66 |
| 2. 論文標題 Real-world effectiveness of screening programs for age-related macular degeneration: amended Japanese specific health checkups and augmented screening programs with OCT or AI | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Japanese Journal of Ophthalmology | 6. 最初と最後の頁 19 ~ 32 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s10384-021-00890-0 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 Kido Ai, Miyake Masahiro, Akagi Tadamichi, Ikeda Hanako Ohashi, Kameda Takanori, Suda Kenji, Hasegawa Tomoko, Hiragi Shusuke, Yoshida Satomi, Tsujikawa Akitaka, Tamura Hiroshi, Kawakami Koji | 4. 巻 260 |
| 2. 論文標題 Association between topical β -blocker use and asthma attacks in glaucoma patients with asthma: a cohort study using a claims database | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology | 6. 最初と最後の頁 271 ~ 280 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s00417-021-05357-z | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Kido Ai, Miyake Masahiro, Tamura Hiroshi, Hiragi Shusuke, Kimura Takeshi, Ohtera Shosuke, Takahashi Ayako, Ooto Sotaro, Kawakami Koji, Kuroda Tomohiro, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 Incidence of central serous chorioretinopathy (2011-2018): a nationwide population-based cohort study of Japan | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 British Journal of Ophthalmology | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bjophthalmol-2021-319403 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 Tamiya Ryosuke, Miyake Masahiro, Kido Ai, Hiragi Shusuke, Tamura Hiroshi, Kuroda Tomohiro, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 65 |
| 2. 論文標題 Validation study of the claims-based definition for age-related macular degeneration at a single university hospital in Japan | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Japanese Journal of Ophthalmology | 6. 最初と最後の頁 388 ~ 394 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10384-021-00816-w | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------------|
| 1. 著者名 Yoshida Miyo, Oishi Akio, Miyake Masahiro, Ooto Sotaro, Tamura Hiroshi, Miyata Manabu, Takahashi Ayako, Hata Masayuki, Yamashiro Kenji, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 38 |
| 2. 論文標題 Rescue photodynamic therapy for age-related macular degeneration refractory to anti-vascular endothelial growth factor monotherapy | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Photodiagnosis and Photodynamic Therapy | 6. 最初と最後の頁 102745 ~ 102745 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pdpdt.2022.102745 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Iwanaga Akira, Utani Atsushi, Koike Yuta, Okubo Yumi, Kuwatsuka Yutaka, Endo Yuichiro, Tanizaki Hideaki, Wataya Kaneda Mari, Hatamochi Atsushi, Minaga Kosuke, Ogi Tomoo, Yamamoto Yosuke, Ikeda Satoshi, Tsuike Eiko, Tamura Hiroshi, Maemura Koji, Kitaoka Takashi, Murota Hiroyuki | 4. 巻 49 |
| 2. 論文標題 Clinical practice guidelines for pseudoxanthoma elasticum (2017) | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 The Journal of Dermatology | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1346-8138.16301 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 Otsuki Ryo, Sugiyama Osamu, Mori Yuki, Miyake Masahiro, Hiragi Shusuke, Yamamoto Goshiro, Santos Luciano, Nakanishi Yuta, Hosoda Yoshikatsu, Tamura Hiroshi, Matsumoto Shigemi, Tsujikawa Akitaka, Kuroda Tomohiro | 4. 巻 11 |
| 2. 論文標題 Integrating Preprocessing Operations into Deep Learning Model: Case Study of Posttreatment Visual Acuity Prediction | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Advanced Biomedical Engineering | 6. 最初と最後の頁 16 ~ 24 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14326/abe.11.16 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Miyata Manabu, Ooto Sotaro, Yamashiro Kenji, Tamura Hiroshi, Uji Akihito, Miyake Masahiro, Muraoka Yuki, Takahashi Ayako, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 7 |
| 2. 論文標題 Influence of vitreomacular interface score on treatment outcomes of anti-VEGF therapy for neovascular age-related macular degeneration | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 International Journal of Retina and Vitreous | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40942-021-00342-4 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 Ura Sawako, Miyata Manabu, Ooto Sotaro, Yasuhara Satoshi, Tamura Hiroshi, Ueda-Arakawa Naoko, Muraoka Yuki, Miyake Masahiro, Takahashi Ayako, Wakazono Tomotaka, Uji Akihito, Yamashiro Kenji, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 42 |
| 2. 論文標題 CONTRAST-TO-NOISE RATIO IS A USEFUL PREDICTOR OF EARLY DISPLACEMENT OF LARGE SUBMACULAR HEMORRHAGE BY INTRAVITREAL SF6 GAS INJECTION | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Retina | 6. 最初と最後の頁 661 ~ 668 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/iae.00000000000003360 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Shimizu Yuichiro, Miyata Manabu, Ooto Sotaro, Miyake Masahiro, Mori Yuki, Tamura Hiroshi, Ueda Arakawa Naoko, Uji Akihito, Muraoka Yuki, Takahashi Ayako, Wakazono Tomotaka, Yamashiro Kenji, Hata Masayuki, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 Pachychoroid phenotype effects on 5 year visual outcomes of anti VEGF monotherapy in polypoidal choroidal vasculopathy | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Acta Ophthalmologica | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aos.15015 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 Takahashi Ayako, Hosoda Yoshikatsu, Miyake Masahiro, Miyata Manabu, Oishi Akio, Tamura Hitoshi, Ooto Sotaro, Yamashiro Kenji, Tabara Yasuharu, Matsuda Fumihiko, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 5 |
| 2. 論文標題 Clinical and Genetic Characteristics of Pachydrusen in Eyes with Central Serous Chorioretinopathy and General Japanese Individuals | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Ophthalmology Retina | 6. 最初と最後の頁 910 ~ 917 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.oret.2020.12.004 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Doi Ayaka, Miyata Manabu, Ooto Sotaro, Tamura Hiroshi, Ueda-Arakawa Naoko, Uji Akihito, Muraoka Yuki, Miyake Masahiro, Takahashi Ayako, Wakazono Tomotaka, Yamashiro Kenji, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 229 |
| 2. 論文標題 Long-Term Visual Outcome in Inferior Posterior Staphyloma and Efficacy of Treatment for Complicated Choroidal Neovascularization | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 American Journal of Ophthalmology | 6. 最初と最後の頁 152 ~ 159 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajo.2021.02.034 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Takahashi Nobuyuki, Saeki Shozo, Kawahara Minoru, Aman Hirohisa, Nakano Eri, Mori Yuki, Miyake Masahiro, Tamura Hiroshi, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 Novel scotoma detection method using time required for fixation to the random targets | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Medxrive | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2021.06.03.21258101 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------------|
| 1. 著者名 Mori Yuki, Miyake Masahiro, Hosoda Yoshikatsu, Uji Akihito, Nakano Eri, Takahashi Ayako, Muraoka Yuki, Miyata Manabu, Tamura Hiroshi, Ooto Sotaro, Tabara Yasuharu, Yamashiro Kenji, Matsuda Fumihiko, Tsujikawa Akitaka, Nakayama Takeo, Sekine Akihiro, Kosugi Shinji, Tabara Yasuharu, Matsuda Fumihiko | 4. 巻 1 |
| 2. 論文標題 Distribution of Choroidal Thickness and Choroidal Vessel Dilation in Healthy Japanese Individuals | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Ophthalmology Science | 6. 最初と最後の頁 100033 ~ 100033 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.xops.2021.100033 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Nakano Eri, Miyake Masahiro, Hosoda Yoshikatsu, Mori Yuki, Suda Kenji, Kameda Takanori, Ikeda-Ohashi Hanako, Tabara Yasuharu, Yamashiro Kenji, Tamura Hiroshi, Akagi Tadamichi, Matsuda Fumihiko, Tsujikawa Akitaka | 4. 巻 4 |
| 2. 論文標題 Relationship between Intraocular Pressure and Coffee Consumption in a Japanese Population without Glaucoma | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Ophthalmology Glaucoma | 6. 最初と最後の頁 268 ~ 276 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ogla.2020.09.019 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 小林 恭、田村 寛、平木 秀輔、西田 幸代、宮川 美栄子、黒田 知宏、小川 修 | 4. 巻 67 |
| 2. 論文標題 泌尿器科学術領域におけるダイバーシティ推進 --泌尿器科紀要掲載論文65年間・1万編の解析-- | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 泌尿器科紀要 | 6. 最初と最後の頁 125 ~ 132 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/actaurologiap_67_4_125 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計13件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

| |
|---|
| 1. 発表者名 加藤 源太、田村 寛、植嶋 大晃、森 由希子、平木 秀輔、酒井 未知、大寺 祥佑、野田 龍也、児玉 知子、佐藤 大介、奥村 泰之 |
| 2. 発表標題 NDBを用いた患者調査各項目の再現の検討 |
| 3. 学会等名 医療情報学連合大会 |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Haruka Nishida; Kazumasa Kishimoto; Osamu Sugiyama; Hiroaki Ueshima; Takuro Kamei; Goshiro Yamamoto; Tomohiro Kuroda; Masahiro Miyake; Hiroshi Tamura |
| 2. 発表標題 加齢黄斑変性治療後の予後を予測するための時系列画像解析 |
| 3. 学会等名 生体医工学シンポジウム 2023 |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 和田沙織; 田村 寛; 三宅正裕; 木戸 愛; 亀井拓郎; 平木秀輔; 植嶋大晃; 辻川明孝 |
| 2. 発表標題 ナショナルデータベースを用いた網膜色素線条症と弾性纖維性仮性黄色腫の疫学調査 |
| 3. 学会等名 第127回日本眼科学会総会 |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 古郷貴裕; 村岡勇貴; 石倉雅治; 錦織奈緒美; 高橋綾子; 三宅正裕; 上田奈央子; 宮田 学; 田村 寛; 畑 匡侑; 辻川明孝 |
| 2. 発表標題 中心性漿液性脈絡網膜症における網膜下液の自然吸収と後極の脈絡膜血管径との関連 |
| 3. 学会等名 第127回日本眼科学会総会 |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 土川愛美利; 上田奈央子; 田村 寛; 宮田 学; 三宅正裕; 高橋綾子; 畑 匡侑; 木戸 愛; 田川美穂; 辻川明孝 |
| 2. 発表標題 滲出型加齢黄斑変性におけるFaricimab硝子体内投与の短期治療効果と安全性 |
| 3. 学会等名 第127回日本眼科学会総会 |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 高橋綾子, 木戸 愛, 三宅正裕, 田村 寛, 辻川明孝 |
| 2. 発表標題 フォン・ヒッペル・リンドウ病、日本における疫学調査とその展望 |
| 3. 学会等名 第128回京都眼科学会 |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 上田奈央子, 田村 寛, 宮田 学, 三宅正裕, 高橋綾子, 木戸 愛, 辻川明孝 |
| 2. 発表標題 APMPPE症例のmultimodal imaging |
| 3. 学会等名 第128回京都眼科学会 |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 宮田 学, 木戸 愛, 田村 寛, 三宅正裕, 亀井拓郎, 和田沙織, 河合健太郎, 中尾真也, 山本昭成, 須田謙史, 中野絵梨, 田川美穂, 辻川明孝 |
| 2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベースを利用した日本人における斜視の病型調査 |
| 3. 学会等名 第128回京都眼科学会 |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 中野 絵梨, 三宅 正裕, 森 雄貴, 田村 寛, 辻川 明孝 |
| 2. 発表標題 視線分析型自動視野計による眼球サッケード運動解析と認知機能検査結果との関連 |
| 3. 学会等名 日本サルコペニア・フレイル学会 |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Ai Kido, Masahiro Miyake, Hiroshi Tamura, Ayako Takahashi, Sotaro Ooto, Akitaka Tsujikawa |
| 2. 発表標題 Incidence of Central Serous Chorioretinopathy in Japan: A Nationwide Population-Based Cohort Study. |
| 3. 学会等名 Association for Research in Vision and Ophthalmology 2021 (国際学会) |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 木戸 愛, 三宅正裕, 田村 寛, 平木秀輔, 田宮良輔, 高橋綾子, 大音壮太郎, 辻川明孝 |
| 2. 発表標題 ナショナルデータベースを用いた本邦における中心性漿液性脈絡網膜症の疫学研究 |
| 3. 学会等名 網膜硝子体学会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 木戸愛、三宅正裕、田村寛、平木秀輔、田宮良輔、高橋綾子、大音壮太郎、辻川明孝 |
| 2. 発表標題 ナショナルデータベースを用いた本邦における加齢黄斑変性の疫学と診療実態調査 |
| 3. 学会等名 日本眼科学会総会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Ai Kido, Masahiro Miyake, Ayako Takahashi, Sotaro Ooto, Hiroshi Tamura, Akitaka Tsujikawa |
| 2. 発表標題 Incidence of Central Serous Chorioretinopathy in Japan: A Nationwide Population-Based Cohort Study |
| 3. 学会等名 The 14th Joint Meeting of Japan-China-Korea Ophthalmologists (国際学会) |
| 4. 発表年 2021年 |

〔図書〕 計3件

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 辻川明孝 | 4. 発行年 2023年 |
| 2. 出版社 中山書店 | 5. 総ページ数 400 |
| 3. 書名 最新 眼科画像診断パワーアップ - 検査の基本から最新機器の撮影法まで眼科診療エクレール | |

| | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 データ科学イノベーション教育研究センター | 4. 発行年 2023年 |
| 2. 出版社 現代図書 | 5. 総ページ数 420 |
| 3. 書名 講義実録 統計入門 | |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 山田 昌和、平塚 義宗 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 南江堂 | 5. 総ページ数 288 |
| 3. 書名 専門医必携 眼科鑑別診断実力アップQ&A 179-181ページ | |

〔産業財産権〕

〔その他〕

| |
|--|
| <p>失明原因となる加齢黄斑変性の日本人の疫学と治療実態を明らかに https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research-news/2022-03-04-0?fbclid=IwAR26xDsVM_3pGGjGZGQRdTdR10PcIVnCSerRcV9NhHsKkFMVQxAWJdKcm9M 国の診療報酬請求データベースを用いて特殊な網膜剥離の発症率を明らかに https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research-news/2021-07-19 日本人、50人に1人斜視 京大グループ分析、多い子ども・高齢者 (朝日新聞 朝日新聞デジタル 2024年4月4日) https://www.asahi.com/articles/DA3S15904778.html 日本人における斜視の有病率の全国調査 日本人の50人に1人が斜視である https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research-news/2024-03-19-0</p> |
|--|

6. 研究組織

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------------------|---|---------------------------------------|----|
| 研究 分 担 者 | 加藤 源太 (Kato Genta) (20571277) | 京都大学・医学研究科・准教授 (14301) | |

6. 研究組織（つづき）

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------|---|--|----|
| 研究分担者 | 平木 秀輔 (Hiragi Shusuke) (60781523) | 公益財団法人田附興風会・医学研究所 保健・健康研究部・研究主幹 (74314) | |
| 研究分担者 | 三宅 正裕 (Miyake Masahiro) (90812793) | 京都大学・医学研究科・特定講師 (14301) | |
| 研究分担者 | 池田 華子 (Ikeda Hanako) (20372162) | 京都大学・医学研究科・特定准教授 (14301) | |
| 研究分担者 | 辻川 明孝 (Tsujiikawa Akitaka) (40402846) | 京都大学・医学研究科・教授 (14301) | |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| | |
|---------|---------|
| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|